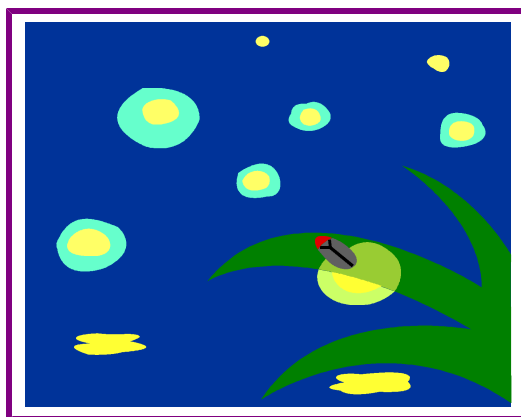


めぐみイエス・キリスト教会

2019年8月18日(日)第三主日礼拝
週報「通算第469号」



2019年標題聖句

第Ⅱペテロ1章10節

《ですから、兄弟たちよ。ますます熱心に、あなたがたの召されたことと選ばれたこととを確かなものとしなさい。これらのことを行なっていれば、つまりくことなど決してありません。》

第一礼拝	毎週日曜日	午前10時～11時
第二礼拝	毎週日曜日	午後6時～7時
聖書の学びと祈り会	毎週水曜日	午後6時15分～7時15分

牧師 鈴木 竜 実
ますみ

※当教会は、モルモン教、エホバの証人(ものみの塔)、統一教会(原理福音)とは、一切関わりがありません。

◇◆◇2019年8月18日 第三主日礼拝
第一礼拝 午前10時 第二礼拝 午後6時
司会 鈴木 竜実牧師 奏楽 佐野 みゆきさん

◎礼拝プログラム

【前奏祈祷】

【賛美Ⅰ】 新聖歌325 「歌いつつ歩まん」 p. 515

【交読文】 No.39 詩篇第122篇 p. 911

【賛美Ⅱ】 新聖歌339 「めぐみの高き嶺」 p. 538

【使徒信条】

【主の祈り】

【先週説教】

【賛美Ⅲ】 オリジナルNo.7 「私の十字架」

【聖書朗読】 ヨハネの福音書18章38節～40節(新約p. 200下段)

【祈 禱】

【説 教】 《釈放するならわしとは?》 鈴木 竜実 牧師

【聖 餐 式】

【賛美Ⅳ】 新聖歌165 「栄光イエスにあれ」 p. 235

【平和祈り】

【頌 栄】 新聖歌63 「父・御子・御霊の」 p. 85

【祝祷後奏】

◎本日の聖書箇所【ヨハネの福音書18章38節～40節】

18:38 ピラトはイエスに言った。「真理とは何ですか。」彼はこう言ってから、またユダヤ人たちのところに出て行って、彼らに言った。「私は、あの人には罪を認めません。」

18:39 しかし、過越の祭りに、私があなたがたのためにひとりの者を釈放するのがならわしになっています。それで、あなたがたのために、ユダヤ人の王を釈放することにしましょうか。」

18:40 すると彼らはみな、また大声をあげて、「この人ではない。バラバだ。」と言った。このバラバは強盗であった。

●ポイント1. 共観福音書における平行記事から

※マルコの福音書15章6節～15節「人殺しバラバ」(新約p.92上段右側)

●ポイント2. レビ記における「スケープゴート」とは？

※レビ記16章8節～10節「アザゼルについて」(旧約p.183上段)

アロンは二頭のやぎの為にくじを引き、一つのくじは主の為、一つのくじはアザゼルの為とする。アロンは、主のくじに当たったやぎをささげて、それを罪の為のいけにえとする。アザゼルの為のくじが当たったやぎは、主の前に生きたままで立たせておかなければならない。これは、それによって贖いをする為に、アザゼルとして荒野に放つ為である。

■アザゼル 贖罪の日に1頭のやぎを選び、その上に民の罪を負わせ、アザゼルとして荒野に放った。このアザゼルの意味について多くの解釈が試みられている。野に送られるやぎのこととされ、また不定詞として、移動、除去、解放を示す。この原語のヘブル語は、アーザル(除去する)の強い意味を表わす語で、「全き除去」「罪の全き赦し」の意味に取る方が、このやぎの持つ役割から妥当と思われる。(聖書辞典からの引用)

●ポイント3. ゴルゴタの丘の十字架の意味は？

※マタイの福音書26章1節～2節「三回目の受難予告」(新約p.49下段)

26:1 イエスは、これらの話をすべて終わると、弟子たちに言われた。

26:2 「あなたがたの知っているとおりに、二日たつと過越の祭りになります。人の子は十字架につけられる為に引き渡されます。」

※ガラテヤ書2章20節および6章14節「パウロの告白」(新約p.334下段)

2:20 私はキリストと共に十字架につけられました。もはや私が生きているのではなく、キリストが私のうちに生きておられるのです。いま私が、この世に生きているのは、私を愛し私の為にご自身をお捨てになった神の御子を信じる信仰によっているのです。

6:14 しかし私には、私たちの主イエス・キリストの十字架以外に誇りとするものが決してあってはなりません。この十字架によって、世界は私に対して十字架につけられ、私も世界に対して十字架につけられたのです。

◎先週のメッセージの概要【愛の流れ】

《本日は、特別礼拝を午後2時から、宣教報告会を午後3時から、タイ・チェンライの平山廣恵宣教師をお迎えして、行なわせていただきました。

さて、平山廣恵先生が教会に来訪されたのは、今から3年前となります。その次の年においても廣恵先生が日本に来られましたが、教会との日程に折り合いがつかず、今回3年ぶりに礼拝に来て下さることになりました。

『子どもたちよ。私たちは、言葉や口先だけで愛することをせず、行ないと真実をもって愛そうではありませんか。』とヨハネは勧めております。

めぐみイエス・キリスト教会は、小さな家の教会であり、決して人数は多くはないにもかかわらず、み言葉に忠実に、3組の宣教師の先生方に、毎月サポートを仕送り続けていることは、外部から、あるいは受けているその当事者として、この教会が「愛の流れ」に沿って歩み続けていることを、明確に知らせるべきであることを、主が示されたとのことでした。そしてこの教会には、間違いなく「愛」が流れていることを、改めて教えて下さいました。

またこの教会が、『私たちが神の命令を守り、神に喜ばれることを行なっているからです。』と、ヨハネが言うように、神様の命令を実行し、そしてその事を神様が心から喜んでおられる、ということも教えて下さいました。

この教会が、サポートと言う「具体的な愛の流れ」によって、宣教師の方々を愛し、その愛は、その宣教師の方々を通して、現地の人々に流れ行く、あるいは注がれて行くことによって、伝えられていることを、もう一度確認させて頂きました。「愛の流れ」は与えることによって流れ出て行くのです。

平山廣恵先生は、8月20日にタイに戻られます。さらなる働きの為に、教会員一同、祈り会において、引き続き祈り続けることを約束させて頂きました。

礼拝後に、40分近く宣教報告をして頂き、チェンライにおける主イエス様の素晴らしい恵みと、数々の御わざに触れることが出来ました。今回の「礼拝メッセージの概要」ですが、報告と言う形で掲載させて頂きました。》

◎お知らせ

※次回礼拝は8月25日です。通常通り、第一礼拝を午前10時、第二礼拝を午後6時から行ないます。また次回「聖書の学びと祈り会」は、8月28日(水)に行ないます。8月21日(水)の祈り会はお休みとなります。鈴木牧師は9月2日(月)～4日(水)まで長崎研修に参加します。4日(水)の祈り会はお休みです。